ACCRETECH TSB

株式会社東精ボックス

宅配ロッカー TR-100

施 工 説 明 書

TR-120
TR-120W

作業前に必ずご確認ください

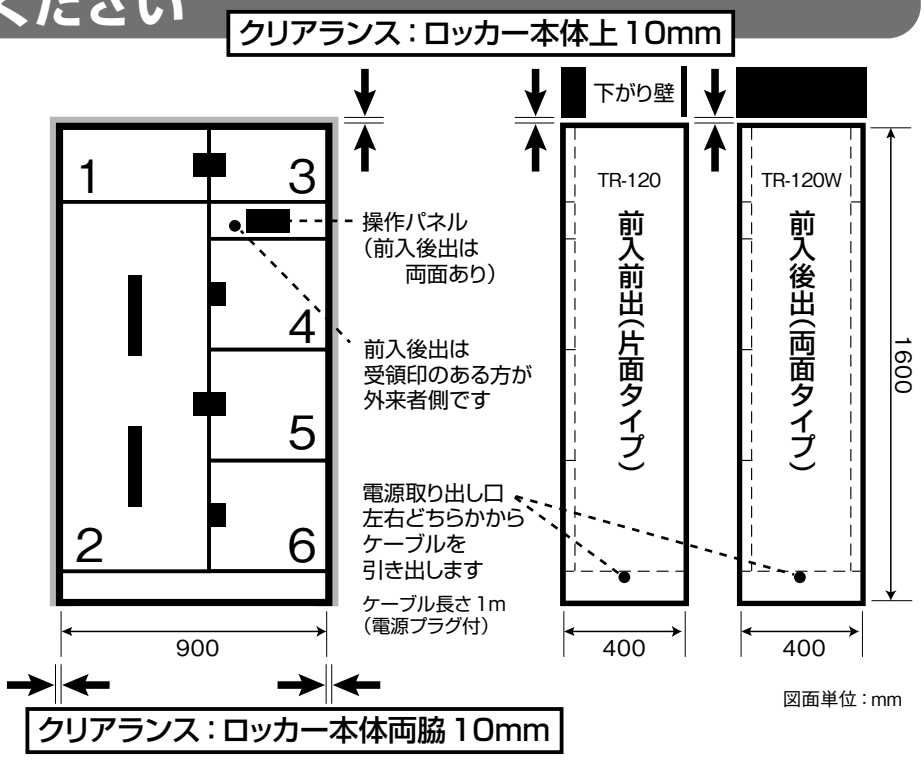
◎本「施工説明書」と一緒に、取扱説明書 引渡書類 が宅配ロッカー本体に貼付けてあります。施工作業終了後、管理者または購入責任者にお渡しください。

◎設置場所開口部と宅配ロッカーのスキマ（クリアランス）は10mm以上確保してください。ただし設置後に壁を仕上げる場合や、壁埋込みをしない後置きの場合は不要です。

◎宅配ロッカー側面（左右どちらか一方）より電源プラグを引き出します。建物の電源位置を確認し、専用コンセントとしてください。使用電源はAC100Vです。

◎前入後出（TR-120W：両面タイプ）の場合、外来者側・居住者側がありますので、設置方向を注意してください。受領印がある方が外来者側です。

◎本品は室内専用です。水のかかる場所、直射日光が当たる場所、高温・多湿・粉塵・油煙等のある場所への設置は避けてください。

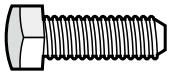


図面単位：mm

施工に必要な部品明細

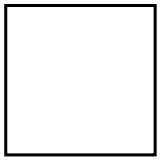
本「施工説明書」に付属の部品

① M8ジャッキボルト（レベル調整用）



×6本

② 敷板 50×50×1mm（↑ジャッキボルトの下に敷く）

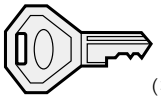


×6枚

非常開錠用L工具

×1本

操作パネル開閉キー（解除専用）



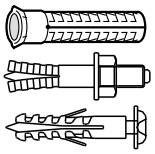
×2本
（栃木屋T210型）

使用後は取扱説明書に入れて管理者または購入責任者にお渡しください

お客さまにご準備いただく道具、部品

●工具　●水準器　●養生材

❸ カールプラグ（#10×32 ※）
または❽アンカーボルト・ナット



×8本
側面または
床面固定用

❹ トラスコタッピングビス
（M5×25～ ※）
スペーサー木固定用

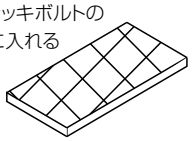
×8本

❺ トラスコタッピングビス
（M6×10～ ※）
片面タイプを背面固定する時に使用

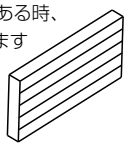
×8本

※設置場所の状況により変更してください

❻ タイル・敷板
Pタイル等腐らないもの
設置後本体安定のため
ジャッキボルトの
脇に入れる



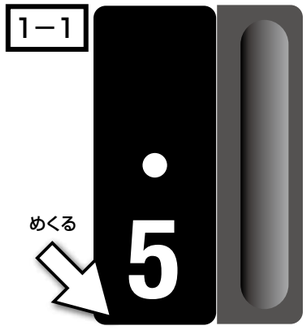
❼ スペーサー用材木
アンカー固定時に
躯体とロッカー本体に
隙間がある時、
使用します



1 準備・・・扉と底板を外す

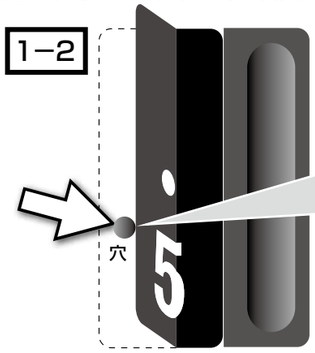
設置場所を養生し、宅配ロッカー本体の扉を外します。電源が入っていないので、「非常開錠Ｌ工具」を 使って扉を開け、作業します。

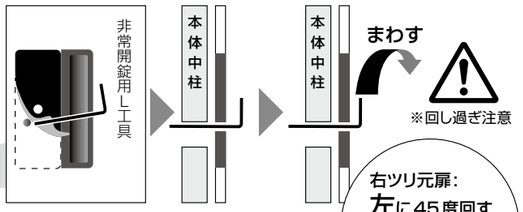
1−1



ボックス番号シールをめくり（台紙がついていて簡単にめくれます）、
穴に「非常開錠用Ｌ工具」を差込みます。

1−2



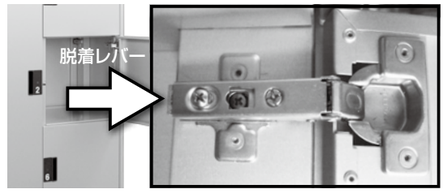


扉の奥の本体中柱にある切り欠き
まで深く差し込みます

（開錠する際には見えていませんが）
このビスに「非常開錠用Ｌ工具」
を差し込むと開錠します。

1−3

※扉の脱着は上から行い、
最後まで手を添えていてください。



丁番の本体側奥にある「脱着レバー」を押すと
扉が外れます。

1−4 「底板」を外します。
（底板は固定されていません）

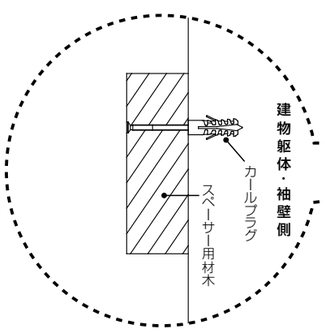
外した扉・底板は、養生して脇に置いておきます。

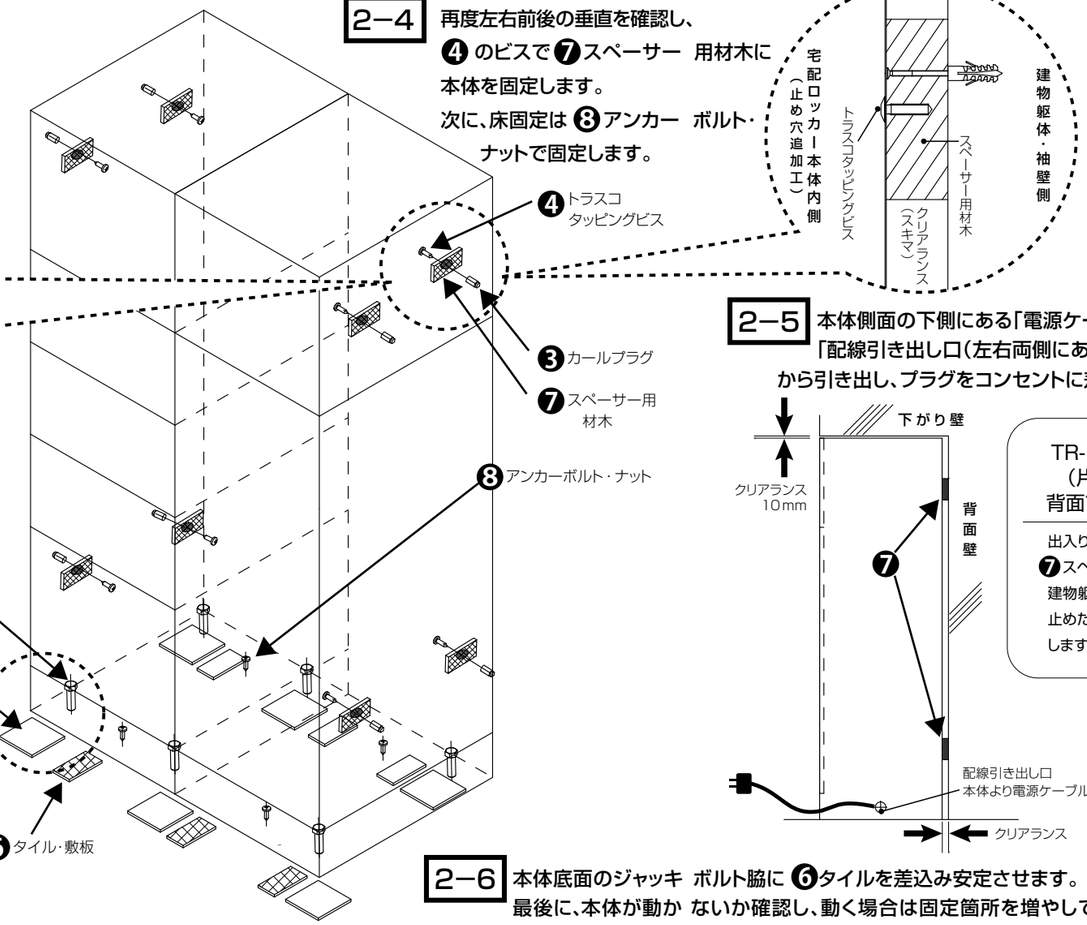
2 本体の固定

宅配ロッカー本体は、基本的に床・側面または背面（片面タイプ）で１２箇所程度固定します。ここでは両 側面と床に固定する場合を中心に説明します。

2−1 ❼スペーサー用材木を建物躯体、軽量壁などに
❸カールプラグ等で取り付けます。

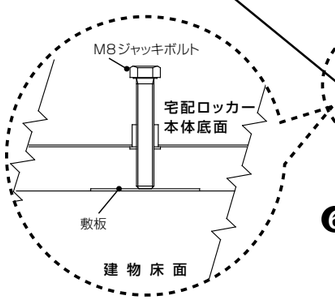
※ロッカー幅よりマイナス２mm程度とします。
クリアランスを多くとり、
後から木を差込調整することも可。





2−2
宅配ロッカー本体を
2−1 で取り付けた
スペーサー用材木の間に設置して、
左右前後の垂直を合わせ
調整します。

2−3
①ジャッキボルトの
下側に②敷板を
敷き、水準器で
水平を出します。



2−4 再度左右前後の垂直を確認し、
❹のビスで❼スペーサー 用材木に
本体を固定します。
次に、床固定は❽アンカー ボルト・
ナットで固定します。

2−5 本体側面の下側にある「電源ケーブル」を
「配線引き出し口（左右両側にあります）」
から引き出し、プラグをコンセントに差します。

TR-120 前入前出
（片面タイプ）を
背面で固定する場合

出入り、立ちにより
❼スペーサー用材木を
建物躯体にカールプラグ等で
止めた後❺ビスで固定
します。（止め穴追加工）

2−6 本体底面のジャッキ ボルト脇に❻タイルを差込み安定させます。
最後に、本体が動か ないか確認し、動く場合は固定箇所を増やしてください。

3 底板と扉の取付

底板と扉を取り付けます。

3−1 底板を取り付けます。（固定作業はありません）

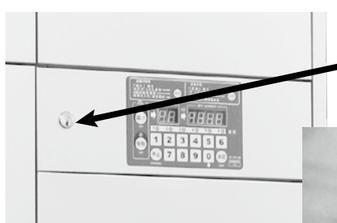
3−2 1−3 の要領で扉を取り付けます。
※扉の脱着は上から行い、最後まで手を添えていてください。

チリなどの調整方法は
本紙項目 6 で
ご説明しています。

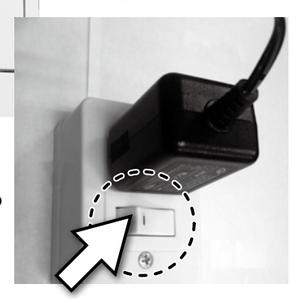
4 電源の投入

操作パネルを開けてスイッチを入れます。

4−1 「操作盤開錠キー」で操作盤の扉を開けます。



4−2 操作盤の内部、
中柱側面にある
スイッチを
ON にします。



4−3 「操作盤開錠キー」で操作盤の扉を閉めます。

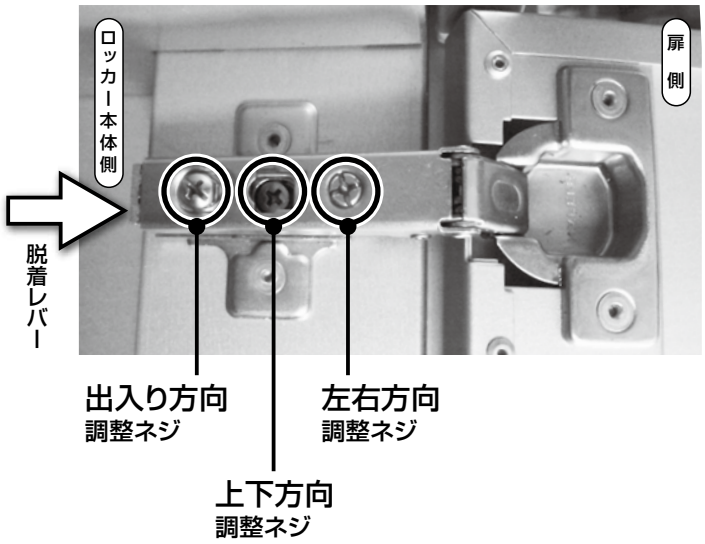
5 管理モードで扉を開ける

扉のチリ、干渉、鍵の不具合、アラームなどの調整をする場合、
本「施工説明書」添付の「管理モード説明書」を参照して扉を開けます。

6 扉チリの調整

扉チリは上下左右２ミリ目安です。
本体に干渉する場合は調整してください。

6−1 出入り、上下、左右それぞれのネジで調整します。



7 L金具の調整

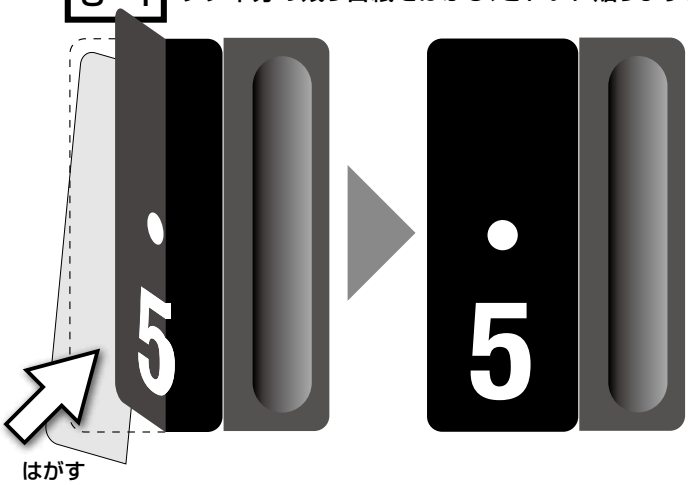
扉を開けた時にパネルの
「番号/NUNBER」の表示が
《ー. Un》から《0. Un》に変わります。

7−1 変わらない場合は扉の内側のL金具を調整します。

8 扉シールを貼る

調整が終わったら扉シールを仕上げます。

8−1 タテ半分の残り台紙をはがし、きれいに貼ります。



9 引渡し

全体を確認して養生を解き、
施工作業は終了です。

取扱説明書 に
操作パネル開閉キー と
非常開錠用L工具 を入れ、
引渡書類 と一緒に管理者または
購入責任者にお渡しください。

株式会社東精ボックス
〒192−8515　東京都八王子市石川町2968-2
http://www.toseibox.com/　施工に関するお問合せは「お問合せ・資料請求」フォームにお入りください